

児童虐待防止マニュアル (様式集)

平成25年8月
改訂:令和4年4月

佐用町

【様式集】佐用町児童虐待防止マニュアル

No.	様式	民生委員・児童委員	保育園・幼稚園・学校	医療機関	行政機関
1	様式1 早期発見のためのチェックポイント (民生児童委員用)	○			○
2	様式2 早期発見のためのチェックポイント (保育園、幼稚園、学校用)		○		○
3	様式3 早期発見のためのチェックポイント (行政用)				○
4	様式4 早期発見のためのチェックポイント (医療機関用)			○	○
5	様式5 共通アセスメントシート1~3				○
6	様式6 児童虐待相談・通告受付票				○
7	様式7 被虐待児童通告書		○		○
8	様式8 被虐待児童通告書			○	○
9	様式9 緊急度アセスメントシート	○	○	○	○
10	様式10 こども家庭センターへのケース連絡票		○	○	○
11	様式11 送致書				○
12	様式12 児童記録票				○
13	様式13 個別支援計画票				○

早期発見のためのチェックポイント

一般的な虐待のサイン

(子どもの様子)

- 不自然な外傷、打撲、骨折、火傷がある
- 衣服などが不潔、季節や身体にそぐわない服装をしている
- 発達の著しい遅れがある（低身長、低体重、栄養失調など）
- 家に帰りたがらない（徘徊、夜遅くまで遊んでいる）
- 表情が乏しい（冷たい目、しかめ面）
- 親子関係が確立していない（おどおどしている、顔色をみる）
- 万引き、非行、虚言が多い
- 乱暴な行動をする
- 性的な関心が高い、逸脱行動がある

(親の様子)

- 子どもの扱いが不自然（泣いてもあやさない、関わりが少ない）
- 育児上の問題がある（極端な自己流育児）
- 子どもに対して拒否的な発言がある（見たくない、イライラする、期待はずれの子）
- 発達にそぐわない厳しいしつけ（人前で叩く、行動の制限）
- 医療の拒否、受診の遅れ
- 他に相談相手や友人がなく地域から孤立している
- 生活上のストレスがある（家族関係、失業、低収入、借金）

早期発見のためのチェックポイント

保育園、幼稚園、学校等での虐待のサイン

（子どもの様子）

- 不自然な外傷（火傷や打撲）を受けて登園、登校してくることが多い
- 季節、身体にそぐわない服装で登園、登校してくる
- 汚れた衣類を身に着け、長期間入浴していない様子である
- 給食のおかわりをしつこく要求したり、おやつを何度も欲しがる等、食事に対する固執傾向が強い
- 集団に入ることができます、年少児、小動物など弱者に対して攻撃的である
- 保育士や教師の身体的接触を嫌がる、逆に必要以上に保育士や教師に近づいてくるなど適切な距離が保てない
- 接触の頻度の割に関係が深まらない
- 忘れ物が多い
- 保育士や教師を試すようにわざと注意されるようなことをする
- 降園、下校を嫌がり、園や学校に残りたがる

（親の様子）

- 年齢にふさわしくない厳格なしつけや行動制限をしたり、手伝いなどを強要する
- 子どもの健康状態に対する关心が薄く、病気でも医療機関を受診させることなく登園、登校させる
- 自分なりの教育観、しつけ観が極端に厳しく、強固である
- 近所に相談できる人がいない
- 他の保護者との交流が少ない、孤立する
- 保護者会、行事などへの参加が消極的であったり、園や学校との交流が少ない
- 家庭訪問の時、不在であったり、寝込んでいたりすることが多い

早期発見のためのチェックポイント

保健所、健診等での虐待のサイン

（子どもの様子）

- 不自然な新旧の外傷（火傷や打撲）がある
- 外傷に対して適切な処置が施されていない
- 季節や身体にそぐわない服装をしている
- 衣類や持ち物、頭髪や爪などが清潔に保たれていない
- 低体重、低身長等身体的発達の遅れがみられる
- 言葉や行動面での遅れがみられる
- 笑顔などの表情が乏しく、他者に対する関心が乏しい
- 親に対する執着が乏しい

（親の様子）

- 子どもが泣いてもあやしたり、抱いたりすることなく放つておく
- イライラした様子で子どもに向かって笑顔がみられない
- 子どもが泣いたり意にそわない言動をとると人前でも激しく叱る
- 子どもに対する要求水準が高く子どもの現状について否定的な発言をすることが多い
- 育児について極端に偏った考え方を持っており、保健師等のアドバイスを聞く姿勢が乏しい
- 子どもの発達状況に応じた食事を与えていない
- 子どもの身体に外傷があった場合、それについては十分な理由などを説明せずに、子どもに関するほかの問題を訴えたり、話をそらす
- 医療機関への受診やより詳しい検査を受けることを拒否する
- 1歳6ヶ月児、3歳児健康診査等の健診を受けさせない

早期発見のためのチェックポイント

医療機関での虐待のサイン

（子どもの様子）

- 皮膚に自分では噛めないような場所に噛んだ跡がある、多数の小さな出血がみられる、ベルトで叩かれたような跡、縛られたような跡がある、たばこの跡、アイロンの跡、熱湯をかけられた跡がみられる
- 多発性の骨折、新旧の入り混じった骨折、肋骨骨折、捻挫骨折、頭蓋骨骨折がみられる
- 目の周りのあざ、眼球の損傷、前眼房の出血がみられる
- 歯肉や舌の小さな凝血、唇小帯の微細な裂傷がみられる
- 性器、肛門、およびその周辺の外傷がみられる
- 若年者の妊娠、中絶
- 異物や薬物などの誤飲
- 愛情遮断による低身長、体重増加不良、栄養障害、脱水症
- 情緒不安定、円形脱毛症、胃潰瘍等の心身症、自殺企図
- からだや着衣が不潔である
- 外傷に対する応急処置が不適切、非常識である
- 親に対する執着がなく、依存する様子がみられない
- 笑顔が少なく表情が乏しい、他者に対する関心も乏しい

（親の様子）

- 受診の時期が適切でない（遅すぎる受診など）
- 症状の程度や予後の処置や治療方法について関心が乏しい
- 外傷の原因を第三者のせいにしたり、あやふやでつじつまの合わない説明をする
- 入院が必要でも拒否したり、退院許可がないのに引き取ってしまう
- 外来治療を中断する

共通アセスメントシート

児童氏名

男・女 年齢() 検討時期()

令和 年 月 日

具体状況	受傷内容	虐待の形態	継続性・再発危険性	その他記事項	重症度(総合)

※重症度と介入のレベル………最重度：生命の危険が「ありうる」「危惧する」もの等
 重度：今すぐには生命の危険はないと考えるが、子どもの健康や成長・発達に重大な影響が出ている
 中度：今は継続的な治療を要するほどの外傷等はないが、長期的に見ると人格形成に問題を残すことが危惧されるもの
 経度：上記のレベルに至らない虐待

(該当するものに○を付す)

【受傷内容】

重症度	区分	摘要	受理	初期調査
最重度	身体的	頭部外傷(頭蓋骨骨折、頭蓋内の出血など)、腹部外傷(内臓破裂、肋骨骨折など)、その他深刻な外傷(広範囲のやけど、目や性器など重要器官への外傷など)、窒息の後遺症、食事制限等による衰弱など(入院治療が必要な程度)		
	ネグレクト	栄養不足による衰弱や著しい体重減少(-2SD以下等)、乳幼児に脱水、低体温症状など		
	性的	性行為による症状等(妊娠、性感染症、性器外傷、自傷行為など)		
重度	心理的	被虐待の子どもが自殺企図あるいは刃物などによる他害行為があり、目が離せない。摂食障害による生命の危険		
	身体的	治療を必要とするほどの外傷(新旧混在の打撲傷、顔面や頭部へ治療を必要とするほどの打撲傷・裂傷、手や足の骨折、部分的火傷など)、慢性の癌や傷痕(タバコ等)		
	ネグレクト	養育の影響による顕著な成長障害や発達遅滞		
中度	性的	性行為の影響による明らかな性逸脱行為(他者との性交、他者へのわいせつ行為)が見られる		
	心理的	治療が必要な精神症状(摂食障害による体重の増減、PTSD、解離症状など)がある		
	身体的	治療を必要としない程度の癌、傷、発熱などの体調不良(全治1週間程度)		
軽度	ネグレクト	生活環境が不良で健康面に影響が生じている。あるいは成長や発達が停滞している。必要な治療がなされていないため、疾患が慢性化している。適切な安全配慮がなされておらず、繰り返し怪我がある。		
	性的	性行為の暴露による明らかな性逸脱行為(他者との性交、他者へのわいせつ行為以外の行動)が見られる		
	心理的	激しい叱責や暴言等による精神(身体)症状が疑われる		
軽度	身体的	外傷が残らない暴力あるいは単発の小さくわずかな怪我		
	ネグレクト	健康面への軽微な影響(湿疹等)や生活習慣(昼夜逆転など)の問題が生じている		
	心理的	精神(身体)症状はないが、行動上に影響が生じている(情緒不安定、攻撃的言動等)		

【虐待の形態】

最重度	身体的	頭部外傷を起こす可能性が高い危険行為(頭部を物で強く殴る、乳幼児を投げる、強く搔さぶるなど)、腹部外傷を起こす可能性が高い危険行為(腹部を蹴る、踏みつける)、窒息を起こす可能性が高い危険行為(首を絞める、水につけるなど)、衣装ケースなど狭い場所に監禁する、親子心中を考えている		
	ネグレクト	乳幼児で感染症や下痢、または重度慢性疾患があるのに医療受診させない、子どもの遺棄、炎天下での乳幼児の車内放置		
	性的	明らかな性行為(あらゆる性交)		
	心理的	入院治療が必要な精神症状を発症させるような言動(何度も自殺や心中を迫るなど)		
重度	身体的	医療を必要とするほどの外傷を起こす可能性が高い危険行為一何度も拳や道具で顔面・頭部等を殴るなど 一室内に閉じ込められる、排泄や食事などの行動制限を一定期間続けている 熱中症、低体温症を招くような縛め出し		
	ネグレクト	車上生活など生活の場所が確保されてない、ライフラインが止まるなど安全な生活環境が確保されていない 就学前児童において、養育者が不在(夜間・長時間)になる状況が継続している		
	性的	性交以外の性的行為、わいせつ行為(プライベートゾーンに触れる、性器を見せる、性的な被写体にするなど)		
	心理的	子どもに生命の危険を感じさせ、恐怖心を刻むような暴言、脅迫的行為など		
中度	身体的	怪我を起こす可能性が高い暴力。夜間などに長時間の縛め出し		
	ネグレクト	ライフラインの一部停止や窮屈などにより食事がとれないことがある。 留守番対応の困難な年齢の子どもが、時折、大人の監督なく家に放置されている 明らかな登校禁止の絶続		
	性的	上記以外の性的刺激を与える行為		
	心理的	子どもに精神(身体)症状を起こすような強いショックを与える行為、言動など。明らかな差別的取り扱いの継続		
軽度	身体的	怪我等を生じさせない暴力		
	ネグレクト	不潔な状態の絶続、不登校(登園)の放置(登校等の取り組みをしない)。世話の不足(季節外れの服装、不十分な食事等)		
	心理的	【要注意】子どもへの暴言等(継続している等)、偏ったしつけ、差別的取り扱い、暴力等を目撃させる行為(激しい、頻発等) 子どもへの叱責等(単発、思春期のこどもが対象など)、暴力等を目撃させる行為(単発、口論等)		

【継続性・再発危険性などその他の考慮すべき状況】

以下の場合は、加重値に応じて、重症度のランクをあげたものとして介入を検討すること。

区分	加重値	摘要	受理	調査
継続性	2	過去に重度以上の虐待がある。あるいは、一時保護等の介入を行っている。その上で再発。		
	1	過去に中度以下の虐待があり、市町やこども家庭センターの懇親的な指導を受けたうえで再発。		
	0	過去に虐待があり、市町やこども家庭センターの指導を受けたうえで再発。 単発の虐待。あるいは初めての虐待通報		
その他	1	子どもの状態を長期間確認できていない		
	1	3歳未満の乳幼児(子どもの心身状況等により学齢児まで)		

児童氏名

男・女 年齢()

令和 年 月 日

区分	項目	把握した状況等
子どもの状況	<input type="checkbox"/> 保護を求めている（あるいは同意） <input type="checkbox"/> 帰宅を拒否している（あるいは消極的） 安全確認（口済・口未済）	
保護者の状況	<input type="checkbox"/> 保護者が保護を求めている <input type="checkbox"/> このままでは「何をしてかすかわからない」「殺してしまいそう」などの訴えがある	
虐待の履歴等	<input type="checkbox"/> 本児 <input type="checkbox"/> きょうだい <input type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 入所 <input type="checkbox"/> 一時保護 <input type="checkbox"/> 相談 <input type="checkbox"/> 虐待（身・性・ネ・心） <input type="checkbox"/> 非虐待 <input type="checkbox"/> 不明の怪我	

【その他のリスク】

項目	該当	概要	ストレングス
		状況例	
子どもの状況	養育者への思い	怯え・恐れ、不自然（緊張・萎縮・いいなり・密着等）	
	精神状態	自傷・他害、表情が乏しい、不安定、排泄・食・睡眠の問題（ ）	
	性格行動面の特徴	多動、落ち着きなし、対人距離感なし、愛着関係の脆弱さ、暴力的、注意引き	
	問題行動	非行（暴力・家出・盗み・性）、虚言、反抗的態度、動物虐待、不登校・怠学、ゲーム等への依存	
	発達及び健康状況	身体・知的・発達障害（あり・疑い）、発育不全、乳幼児健診未・予防接種未	
虐待者の状況	育児養育意欲	泣いてもあやさない、絶え間なく叱る、養育意欲（なし・不十分）、支配的	
	精神状態	精神不安定、自殺企図、衝動的、攻撃的、服薬管理できない、未熟	
	その他	養育能力（欠如、不十分、疑問）、虐待行為を（認める、認めない、正当性主張）、依存症（ ）	
世帯状況	居住環境	著しく不衛生、家事能力欠如、転居が多い、所在不明となる、安全配慮なし	
	家族形態	内縁、一人親（父・母）、若年夫婦、ステップファミリー、内夫（婦）が監護	
	その他	生活保護、生活苦、夫婦関係不和、DV	
支援者関係	親族との関係	交流なし、遠距離、親族の死去、不和（過干渉、反発、葛藤）	
	援助への態度	関与を（無視、拒否、強く反発、暴力的反発）、接触困難、居留守	
	その他		

該当する場合は「○」を記入し、具体的な状況を「把握した状況等」欄に記入する。該当しない場合は「×」を、疑いは「△」、不明の場合は「？」を記入すること。「△」とした場合は、その理由を「把握した状況等」欄に記入すること。

児童氏名

男・女 年齢()

項目	状況例		把握した状況等				検討時期	ストレングス
	(R...)	(R...)	(R...)	(R...)	(R...)	(R...)		
虐待の履歴等	①入院・②入所・③一時保護・④相談歴 (⑤虐待・⑥非虐待)						-	-
	①②③④⑤						-	-
きょうだいの相談	①入院・②入所・③一時保護・相談歴 (虐待・非虐待)、④不審死、⑤詳細不明							
虐待の継続性等	①毎日、②週2~3回、③月数回、④何日も放置、⑤繰り返し、⑥常習							
子どもの状況	養育者への思い 精神状態 性格・行動面の特徴 問題行動 発達及び健康状況	①怯え・②疲れ、不自然(③緊張・④萎縮・⑤心配) ①自虐・他害、②表情が乏しい、③不安定な排泄・食・睡眠の問題 ①多動、②落ち書きなし、③対人距離感なし、④愛着関係の難しさ、⑤暴力的、⑥注意引き ①非行(暴力・家出・盗み・性)、②虚喩、③火遊び、④反抗的態度、⑤動物虐待、⑥不登校・怠学、⑦ゲーム等への依存 ①身体・知的・発達障害(あり・疑い)、②発育不全、③乳幼児検診未・予防接種未						
虐待者の状況	育児養育能力 育児養育悪化 精神状態	①養育能力(欠如・不十分・疑問)、②養育の強い負担感・不安)、③知識不足 ①泣いてもあやさない、②絶え間なく化る③養育悪化(なし・不十分)、④支配的 ①精神不安定、②自殺企図歴、③衝動的、④攻撃的、⑤服薬管理できない、⑥未熟						

*「検討時期」欄には、1行目に会議名等及び日付を記入し、二行目以下には「状況例」に該当する項目がある場合はその番号を、状況例にないもので該当する場合は「○」を記入し、具体的な状況を「把握した状況等」欄に記入する。該当しない場合は「×」を、疑いは「△」、不明の場合は「?」を記入すること。「△」とした場合は、その理由を「把握した状況等」欄に記入すること。

児童氏名

男・女 年齢()

項目	状況例		把握した状況等				検討時期	ストレングス
	(R...)	(R...)	(R...)	(R...)	(R...)	(R...)		
虐待者の状況	既存の問題 虐待の認識 固り底・改善の意識	薬物依存(①あり・②再発・③疑い・④治療なし)、⑤静うと暴力、⑥アルコールの臭い 行為者(①認める・②否認)、③しつけ主張 虐待者(①認める・②認めない・③正当主張)					-	-
	被虐待歴 居住環境 経済状況 家族形態 父母の関係 保護者との問題	①被虐待歴あり、②愛されなかつた思い、③新しいしつけを受けた ①著しく不衛生、②家事能力欠如、③転居が多い、④所在不明となる、⑤安全配慮なし ①ライフライン停止、②生活苦、③多額の借金、④計画性欠如 ①内縛、②一人親(父・母)、③若年夫婦、④パートナー、⑤内夫(婦)が監護 ①離婚(調停中・審判中)、②別居、③夫婦不和、④DV(保護命令あり・なし) ①虐待者とのみ同居、②子を守る人がいない、虐待者に(③喧嘩・凶暴語・暴行観)						
世帯状況 支援者関係	親族との関係 援助への態度 サービス利用	①交流なし、②遠距離、③親族の死去、不和(④過干渉、⑤反発、⑥葛藤) ①無報、②拒否、③強く反発、④暴力的反発)、⑤接触困難、⑥居留守 ①提案拒否、②拒否しないが利用せず、③無関心、④調整改善が期待できない						

*「検討時期」欄には、1行目に会議名等及び日付を記入し、二行目以下には「状況例」に該当する項目がある場合はその番号を、状況例にないもので該当する場合は「○」を記入し、具体的な状況を「把握した状況等」欄に記入する。該当しない場合は「×」を、疑いは「△」、不明の場合は「?」を記入すること。「△」とした場合は、その理由を「把握した状況等」欄に記入すること。

児童虐待相談・通告受付票

年度
No.

受付・受理年月日 年 月 日() 時 分

受付者 ()

子どもの 状況と 虐待の種類 ・内容	氏名	男・女	所 属	生 年 月 日	平成 年 月 日(歳)	
		男・女			平成 年 月 日(歳)	
		男・女			平成 年 月 日(歳)	
住所	電話					
・誰から ・いつから ・頻度は ・どんなふうに						
虐待の種類	身体的	性的	ネグレクト	心理的	主()・従(○)	
・現在の居場所 ・就学 ・出席状況						
健康・栄養状態 身体・衣服の汚れ						
・様子 (落ち着きなし おどおど 表情が乏しい 徘徊 外に出ない 乱暴 その他)						
保護者と家庭の状況	氏名	続柄	氏名	続柄		
	職業	年齢	職業	年齢		
	住所	電話() -				
	・兄弟の有無 ・同居家族 ・家族内の協力者 ・家族以外の協力者 ・近隣関係 ・DV被害等	<ジエノグラム>				
	氏名	電話() -				
	住所					
	関係	家族・近隣・学校・保育園・幼稚園・市町村・児童委員・警察・その他()				
通告者について	事実の確認	・通告者は、実際に目撃した ・悲鳴や音等を聞いて推測した ・関係者()から聞いた				
	保護者との話し合い	・この件について保護者と(話し合った ・話し合っていない) ・保護者は、この通告を(承知 ・拒否 ・知られていない)				
	通告意図	子どもの保護・調査・相談				
	調査協力	調査協力(諸 ・否) 当センターからの連絡(諸 ・否)				
	通告受付後の初期対応					

通告者への対応



被虐待児童通告シート（様式）

年 月 日

被虐待児童通告書

様

機関名

電話番号

担当者名

印

児童氏名		性別	男・女	年齢	歳 か月
住 所					
保護者氏名		続柄			
通告の理由	通告について養育者は <input type="checkbox"/> (○をつけてください) ・了解している ・了解していない ・知らせていない ※ 但し通告については、養育者に 了解がなくても守秘義務違反には 該当しない。				
児童の生育歴・現在の状況等					
家庭状況等					

通告先一覧

健康福祉課 子育て・福祉室 TEL 0790-82-0661 Fax 0790-82-0144
 姫路こども家庭センター TEL 079-297-1261 Fax 079-298-1895

※虐待を受けている児童が発見された場合、上記のいずれかへご一報ください。

なお、通告書の不足につきましてはコピーしてご使用いただくか、さよう子育て支援センターへ
ご請求願います。

(裏面にもご記入ください)

子どものチェックリスト

* 該当する項目、疑わしい項目の□の中に印(☑)をつけてください。

1 被虐待児に対するチェック

(1) 全身		(2) 皮膚	
<input type="checkbox"/> 低身長（標準に比べて極めて低い）		<input type="checkbox"/> 多数の打撲や傷	
<input type="checkbox"/> 低体重（標準に比べて極めて軽い）		<input type="checkbox"/> 多数の小さな出血	
<input type="checkbox"/> 栄養不良		<input type="checkbox"/> 不審な傷痕（ベルト・紐・絞首・歯型・爪痕・櫛・つねり痕・ハンガー・ふとんタタキ）その他（　）	
<input type="checkbox"/> 事故（骨折・外傷・脱臼等）を繰り返す		<input type="checkbox"/> 不自然な火傷、熱傷（タバコ、アイロン、熱湯）	
<input type="checkbox"/> 不衛生（垢まみれ・酷いおむつかぶれ・異臭がする）			
(3) 心理面	<input type="checkbox"/> 言葉の遅れ <input type="checkbox"/> 円形脱毛 <input type="checkbox"/> 夜尿 <input type="checkbox"/> 遺尿 <input type="checkbox"/> 遺糞 <input type="checkbox"/> 胃潰瘍などの心身症 <input type="checkbox"/> 反復性疼痛（頭痛、腹痛など） <input type="checkbox"/> 自殺企図（リストカット等） <input type="checkbox"/> 養育者との分離不安がない <input type="checkbox"/> 動きがぎこちない	<input type="checkbox"/> 触れられることを異常に嫌がる <input type="checkbox"/> 自分からの発声や発語が少ない <input type="checkbox"/> 言動が乱暴 <input type="checkbox"/> 養育者の在不在によって動きや表情が極端に違う <input type="checkbox"/> 年齢不相応な性的興味や言動がある <input type="checkbox"/> 誰にでも甘える	(4) その他 <input type="checkbox"/> 服装が不潔 <input type="checkbox"/> 異常に食べる <input type="checkbox"/> 入浴していない
<input type="checkbox"/> 極端な怯え			
<input type="checkbox"/> 情緒不安定			
<input type="checkbox"/> 養育者を怖がる			
<input type="checkbox"/> 大人の顔色を見る			
<input type="checkbox"/> 凍りつく凝視			
<input type="checkbox"/> 無表情			
<input type="checkbox"/> 落ち着きがない			
<input type="checkbox"/> チックがある			

2 養育者に対するチェック

(1) 子どもへの接し方					
<input type="checkbox"/> 殺る・蹴る	<input type="checkbox"/> 性器や性交を見せる	<input type="checkbox"/> 子どもの意思に反して学校に生かせない			
<input type="checkbox"/> 投げ落とす	<input type="checkbox"/> 性交、性的暴力、性的行為の強要・教唆など	<input type="checkbox"/> 季節に合った服装をさせない			
<input type="checkbox"/> 热湯をかける	<input type="checkbox"/> ポルノグラフィーの被写体などに、子どもを強要する	<input type="checkbox"/> 適切な食事を与えない			
<input type="checkbox"/> 冬戸外へ締め出す	<input type="checkbox"/> 全く衣服を着せない	<input type="checkbox"/> 重い病気に罹っても病院へ連れて行かない			
<input type="checkbox"/> ふとん蒸しにする	<input type="checkbox"/> 無視や拒否的态度を示す	<input type="checkbox"/> 乳幼児を家に残したまま度々外出する			
<input type="checkbox"/> 溺れさせる	<input type="checkbox"/> 心を傷つける罵声を繰り返す	<input type="checkbox"/> 乳幼児を車の中に放置する			
<input type="checkbox"/> 逆さ吊りにする	<input type="checkbox"/> 子どもの自尊心を傷つける言動	<input type="checkbox"/> 泣いてもあやさない			
<input type="checkbox"/> 異物を飲ませる	<input type="checkbox"/> 他のきょうだいと著しく差別的な扱いをする	<input type="checkbox"/> 下着など長期間不潔なままにする			
<input type="checkbox"/> 食事を与えない		<input type="checkbox"/> 極端に不潔な環境で生活させる			
<input type="checkbox"/> 繩などで縛り付ける		<input type="checkbox"/> 子どもの安全に配慮しない			
<input type="checkbox"/> 過重な家事をさせる					
<input type="checkbox"/> 家に閉じ込める					
(2) 養育者の様子					
<input type="checkbox"/> 子どものけがなどについての説明が不自然					
<input type="checkbox"/> 虐待を認めない					
<input type="checkbox"/> 体罰を正当化する					

3 その他気がついたこと

--

様式8

医療機関用通告シート

医療

行政

年 月 日

被虐待児通告書

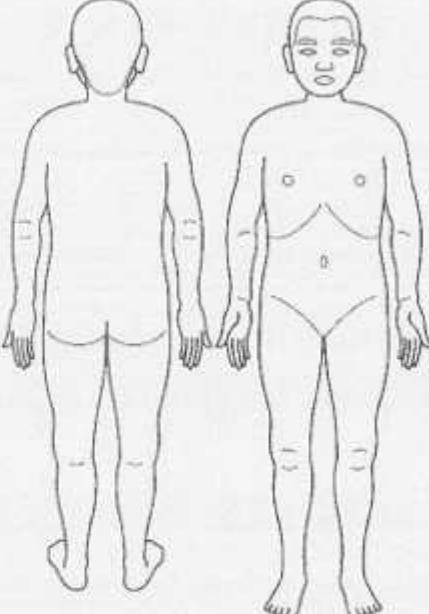
様

医療機関名

電話番号

担当医師名

印

児童氏名		男・女	H・S 年 月 日 (歳 か月)
住 所	〒		
保護者氏名			続柄
通告の理由			通告について養育者は <input type="checkbox"/> をつけてください ・了解している ・了解していない ・知らせていない ※ 但し通告については養育者の了解がなくても守秘義務違反には該当しない。
所見の概要(児童の症状・身体状況等)			
			

通告先一覧

健康福祉課 子育て・福祉室 Tel 0790-82-0661 Fax 0790-82-0144
 姫路こども家庭センター Tel 079-297-1261 Fax 079-298-1895

※ 通告書の不足につきましてはコピーしてご使用いただかずか、さよう子育て支援センターへご請求願います。

(裏面にもご記入ください)

虐待症例チェックリスト

虐待が疑われる症例については、以下のチェックで確認してください。

虐待症例については、この通告書でこども家庭センターへ通告してください。

*該当する項目、疑わしい項目の□の中に(☑)をつけてください。

1 被虐待児に対するチェック

(1) 全身	(3) 耳 □ 鼓膜裂傷 □ 耳介の腫脹（耳たぶを頻繁に引っ張られて生じる）	(8) 骨 □ 新旧混在する骨折 □ 多発性骨折 □ 乳児の長管骨骨折 □ 肋骨骨折 (胸部圧迫、シェイキング等) □ 捻転骨折（胸部圧迫） □ 中毒（薬剤、化学物質等による）
(2) 皮膚	(4) 鼻 □ 鼻骨骨折	(9) 胸腹部 □ 内臓損傷、内臓破裂 (腎臓、肝臓、脾臓) □ 溺水、窒息 □ 消化性潰瘍
	(5) 眼 □ 眼のまわりの痣 □ 眼球損傷（前目房の出血、眼底出血） □ 眼外傷。 (白内障、網膜剥離、水晶体脱臼等)	(10) 泌尿器生殖器 □ 性器、肛門周囲の外傷 (男児にもあるので注意) □ 若年者の妊娠、中絶、出産 (性的暴力の存在に考慮) □ 反復性尿路感染症
	(6) 口腔 □ 口周囲の打撲、裂傷 □ 口唇小帯、舌小帯	(11) 心理面
	(7) 頭 □ 頭蓋内出血（硬膜下、くも膜下） □ 頭蓋骨骨折 □ 脳挫傷	(12) その他 □ 予防接種がほとんど接種されていない □ 母子手帳がほとんど記載されていない □ 母子手帳を紛失している
(11) 心理面		
	□ 極端なおびえ □ 情緒不安定 □ 大人の顔色をうかがう □ 無表情 □ 無感動 □ 無関心 □ 多動 □ 言葉の遅れ □ 円形脱毛症 □ チック □ 夜尿 □ 遺尿 □ 遺糞 □ 反復性疼痛（頭痛、腹痛など） □ 胃潰瘍などの心身症 □ 触れられることを異常に嫌がる □ 動きがぎこちない □ 自分からの発声や発語が少ない □ 養育者がいる時といまい時で動きや表情が極端に違う	

2 養育者に対するチェック

□ 体罰を正当化する □ 子どもの扱いがぎこちない □ 発症から受診までの時間が長い □ 説明が不自然（つじつまが合わない、あやふや、内容がよく変わる、受傷の原因を他者の責任にする） □ 外傷の程度、予後、治療方法等に無関心である □ 説明に対して納得をせず、転院を繰り返す □ 挑発的態度、被害的態度、衝動的行動が多い	□ 明確な異常がないのに、種々の訴えを繰り返し、頻回に受診する。 □ 人の接し方が下手で、度々トラブルを起こす □ 外来を中断する。 □ 重症であるにもかかわらず、入院を拒否する □ 入院しても、すぐに帰ってしまう □ 面会や電話での問い合わせがほとんどできない □ 面会は短時間で、子どもと接触しない □ 子どもの安全に配慮しない
--	---

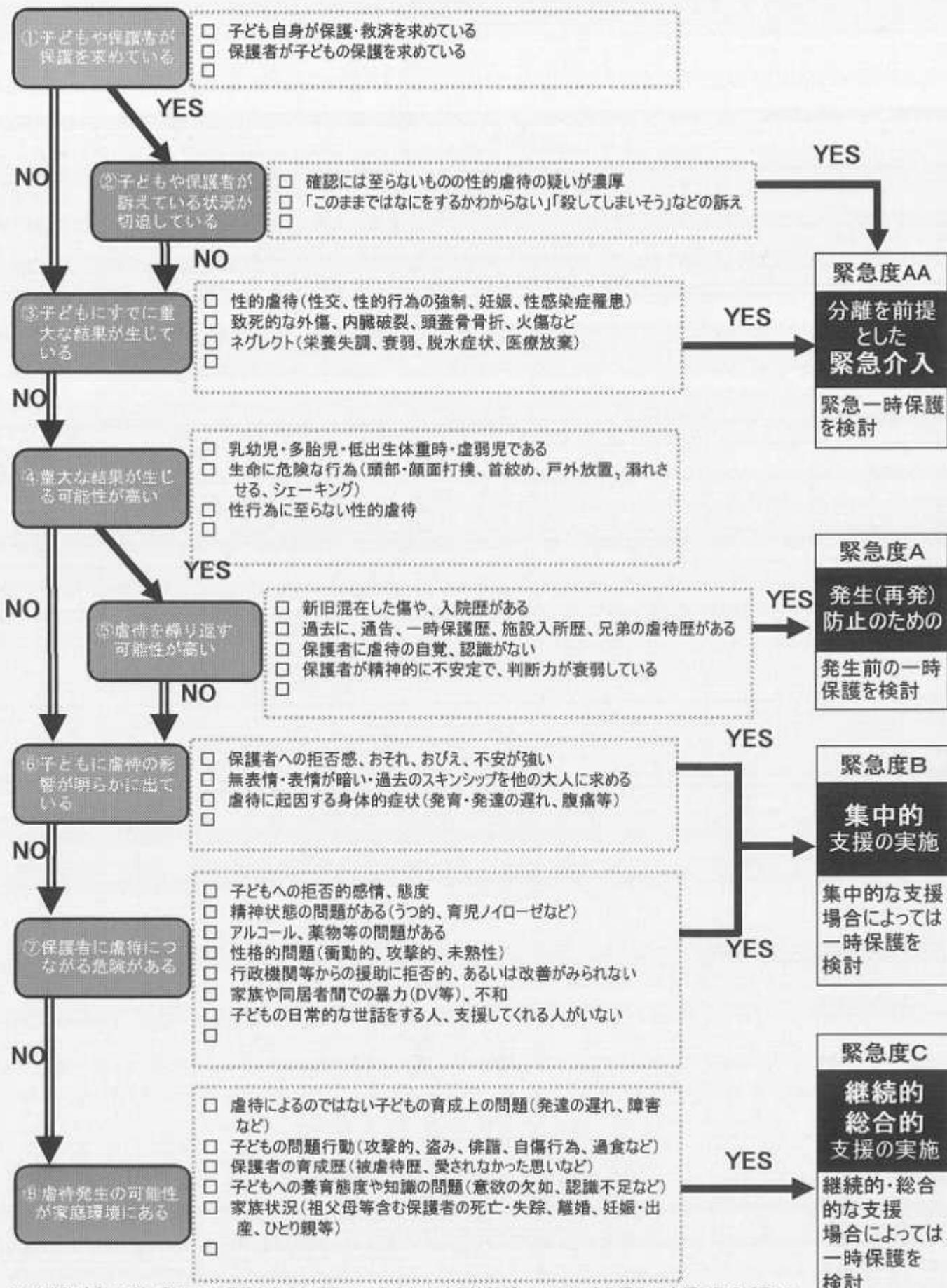
3 他に気づいたこと

--

緊急度アセスメントシート

児童氏名 _____

(作成日 年 月 日)



様式10

保幼学

医療

行政

年 月 日

こども家庭センターへのケース連絡票

(市町名 :)

児童	ふりがな 氏名	(男・女)			生年月日	年 月 日
	年齢				歳 か月	
保護者	ふりがな 氏名	(男・女)	続柄		生年月日	昭・平 年 月 日
	年齢				歳	
家族・親族状況	ふりがな 氏名	続柄	年齢	職業等	電話番号	
主訴 (受付時)	【相談種別 : (虐待の場合 : 身体的・性的・ neglect・心理的)】					
リスク要因						
児童の現在の状況・市町の対応状況等						
安全確認	未・済 → 直接目視・間接確認(学校・保育所・児童委員・その他())					
援助等に関する市町意向	児童					
	保護者					
市町におけるアセスメント結果						
重症度	最重度・重度・中度	一時保護	要・否	施設入所等	要・否	
親族の養育	可・否	(居・医学面等の判定)	要・否	女性家庭の利用	可・否	
保育所の利用	可・否	児童委員の協力	可・否	地域子育て支援	可・否	
精神支援生活保護等	可・否	その他のサービス	可・否	(具体的に)		
その他参考事項等						
担当	部課名			電話番号		
	職氏名					

様式11

行政

(別添6)

第 号
年 月 日

兵庫県 こども家庭センター所長

佐用町長

送致書

下記の理由により、ケースを送致します。

記

子ども	氏名			
	生年月日	年 月 日生 (歳)		
	保育所・学校等 利用状況	中学校・小学校・幼稚園・保育園		
		年生		
	現住所	〒		
保護者	氏名		続柄	
	生年月日	年 月 日生 (歳)		
	職業			
	現住所	〒		

送致理由	
ケース概要	
対応経過	
ケース担当者	所属 担当者 電話
添付資料	

児童記録票

1/1

ケース番号	-
受理年月日	

決済年月日	課長	室長	室長補佐	主査	係員	担当者

統 計	経路	記 号	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハ															
	種別		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p
	処理		1	2	3	4	5	6	7	未処理								

子 ど も	ふりがな 児童名	男・女	生年月日 年　月　日生(　歳)
	現住所	〒	所属 無・保育園・幼稚園・小・中・高・その他 名称: 年　一組　担任名(　)
保護者	ふりがな 氏名		
	生年月日		
	続柄・年齢	歳	歳
	現住所	〒	〒

主訴	
----	--

家 族 構 成	続柄	氏名	生年月日	年齢	職業等	備考	ジノグラム

相談者	子どもとの関係 連絡先　電話
備考	記入者(　)

年月日及び摘要	経過記録

健康福祉課

個別支援計画票

年 月 日
()

記入者()

ケース番号 フリガナ	種別	地区名	所属	年 月 日生 (歳)
子ども氏名		性別 男 女	生年月日	
保護者氏名		続柄	作成年月日	年 月 日
主訴				
子どもの意向				
保護者の意向				
学校等の意見				
市町村の意見				
子ども家庭センターとの協議				
家族背景				
支援の方向性				
関係図	ジェノグラム		エコマップ	
中・長期目標				
子ども本人とのかかわり				
短期目標 (最優先的重點的課題)	支援上の課題	支援目標	支援内容・方法	評価

家族(養育者)とのかかわり				
短期目標 (最優先的重点的課題)	支援上の課題	支援目標	支援内容・方法	評価
関係機関(保育所・学校など)とのかかわり				
短期目標 (最優先的重点的課題)	支援上の課題	支援目標	支援内容・方法	評価
総合的支援				
短期目標 (最優先的重点的課題)	支援上の課題	支援目標	支援内容・方法	評価
備考				
受理日			完結日	

通告書の書き方

通告書は表、裏とも記入し、健康福祉課 子育て・福祉室へ提出してください。

- ・通告書は佐用町ホームページからダウンロードできます。トップページから「虐待マニュアル」で検索してください。
- ・手渡しか郵送により提出してください。
- ・全ての欄に記入がなくてもかまいません。現在わかる範囲の内容で記入してください。
- ・書ききれない場合は適宜用紙を追加してください。
- ・身体的虐待の場合は、「痣」や「傷」の写真を撮り、大きさ、位置、数等を記録してください。特に写真は、後日に虐待の証拠となりますので必ず撮影しておいてください。
- ・痣(傷)等のできた原因を子どもから聞き取りしてください。話す内容がわかりにくかったり、矛盾する内容や虚言が入ることも考えられますが、子どもが話した内容、話している時の様子なども記録してください。
- ・保護者から事情を聞く場合もあると思われますが、「説明」が納得できるものか、傷の位置が不自然でないかなど、注意する必要があります。

通告は犯人探しをすることでも虐待のレッテルを貼ることでもありません。親からのSOSをキャッチし、多くの機関による支援につなげていくことです。

通告は支援のはじまりです。子どもの未来のために、共に歩みだしましょう。

佐用町健康福祉課

電話…… 0790-82-0661
FAX…… 0790-82-0144
Eメール kosodateshien@town.sayo.lg.jp